

## 切らない眼瞼下垂手術 NILT 法 (Non Incisional Levator Tacking Technique) の適応について

池田 欣生<sup>1</sup> 森川 一彦<sup>1</sup>

Yoshio Ikeda<sup>1</sup>

Kazuhiko Morikawa<sup>1</sup>

東京皮膚科・形成外科 銀座院<sup>1</sup>

我々は切らない眼瞼下垂手術 NILT 法を 2005 年に日本美容外科学会で報告以来、10 年以上にわたって多数行ってきた。NILT 法は切開を必要としないため糸を外すと元に戻せる、という利点はあるが、一方で後戻り率が高い、という欠点もある。しかし後戻り率は選ぶ糸の材質や術後ケアの指導などにより減らすことができる。今回我々は後戻りを防ぐための手術適応の基準についてと、術後ケアの指導方法等について報告する。